

Complies with
IMDA Standards
DA108470



R 210-195917



Product: Bluetooth Earphone
Model number: AG-PITA
FCC ID: 2AX2R-PITA

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

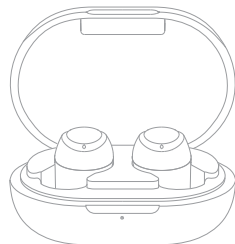
PITA

取扱説明書

Online manual:



https://final-inc.com/pages/lang-download-pita_ag

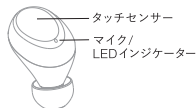
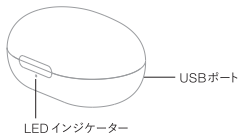




イヤホン本体



充電ケース

イヤピース
(final TYPE E
完全ワイヤレス専用仕様)USB Type-C
充電用ケーブル

充電ケースを充電する:

付属の充電用ケーブルUSB Type-Cコネクタを充電ケースのUSBポートに接続し、USB Type-Aコネクタを同形状のコネクタを有する電子機器やアダプターに接続すると充電ケースの充電が開始されます。充電中は充電ケースのLEDインジケータが白く点滅し、充電が完了すると白く点灯します。



イヤホンを充電する:

充電ケースにイヤホンを収納すると、イヤホンのLEDインジケータが赤く点灯し、本体の電源がOFFとなり、充電が開始されます。このとき、充電ケースのLEDインジケータが約4秒間白く点灯します※。イヤホンの充電が完了すると、イヤホンのLEDインジケータが青く点灯した後に消灯します。

※イヤホンが満充電の場合は点灯しません。

電源をONする



充電後、充電ケースからイヤホンを取り出すと、イヤホン本体の電源が自動でONになり、イヤホンのLEDインジケータが約1秒間青く点灯します。

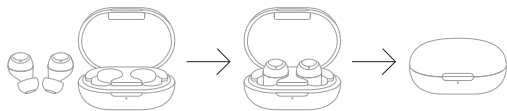


電源がOFFになっている場合、タッチセンサーに約2秒間触れ続けると電源がONになります。

※片側ごとに操作が必要です。

電源をOFFする

片側のタッチセンサーに約5秒間、電子音が2回鳴るまで触れ続けてから離すと、両側のイヤホンの電源がOFFになります。



充電ケースの電池残量が十分な場合、イヤホンを充電ケースに収納すると、イヤホン本体の電源が自動でOFFになり、充電が開始されます。

このとき、イヤホンが満充電ではない場合、充電ケースのLEDインジケータが約4秒間白く点灯します。また、充電ケースの電池残量が10%以下である場合、充電ケースのLEDインジケータが4回白く点滅します。

ペアリングする

お手持ちのスマートフォン等の機器と初めて接続する場合は、ペアリングを行なう必要があります。次回イヤホンの電源をONにすると、前回接続していた機器に自動的に接続されます。



本機を初めてご使用になる場合：

1. 充電ケースからイヤホンを取り出すと、イヤホンのLEDインジケータが約1秒間青く点灯し、電源が自動でONになった後、ペアリングモードに移行します。このとき、どちらか片側のLEDインジケータが青・赤に交互点滅します。
2. スマートフォン等のBluetooth機能をONにし、画面に「ag_PITA」が表示されたら選択します。接続する機器の画面に、「ag_PITA 接続済み」※と表示されましたらペアリングは完了です。

※スマートフォン等の機器によって表示が異なる場合がございます。

ペアリングをやり直す場合/2台目以降の機器とペアリングする場合：

1. 新たにスマートフォン等の機器とのペアリングを行なう前に、既にペアリングされているスマートフォン等の機器との接続をお切りいただくか、既にペアリングされている機器のBluetooth機能をOFFにしてください。
2. 充電ケースからイヤホンを取り出すと、イヤホンのLEDインジケータが約1秒間青く点灯し、電源が自動でONになった後、ペアリングモードに移行します。このとき、どちらか片側のLEDインジケータが青・赤に交互点滅します。
3. スマートフォン等のBluetooth機能をONにし、画面に「ag_PITA」が表示されたら選択します。接続する機器の画面に、「ag_PITA 接続済み」※と表示されましたらペアリングは完了です。

※スマートフォン等の機器によって表示が異なる場合がございます。

		L	R
音楽	再生	1回タップする	
	一時停止	1回タップする	
	次の曲へ	—	電子音が鳴るまで触れてから離す
	曲の先頭に戻るまたは前の曲へ※1	電子音が鳴るまで触れてから離す	—
	音量を上げる	—	2回タップする
	音量を下げる	2回タップする	—
着信	着信受話	1回タップする	
	通話終了	1回タップする	
	着信拒否	3回タップする	

※1: 曲の開始直後に操作すると前の曲、曲の途中で操作するとその曲の初めに戻ります。曲の途中で前の曲に戻る場合は連続して2回操作してください。




ペアリングがうまくいかなかった場合や、予期せぬエラーが発生して正しく動作しない場合は、以下の手順でイヤホン本体がリセットされます。リセット完了後、再度ペアリング操作をお試しください。

1. 電池残量が十分な充電ケースに左右のイヤホンを入れた状態で、両側のイヤホンのタッチセンサーに同時に10秒以上触れ続けると、イヤホンのLEDインジケーターが青く5回点滅します。
2. その後、イヤホンを取り出すと、片側のイヤホンのLEDインジケーターが青・赤に交互点滅となり、ペアリングモードに移行します。この状態でリセットが完了です。
3. リセットが完了すると、工場出荷時の状態となり、イヤホン側に記憶されていたスマートフォン等の機器とのペアリング情報も削除されます。そのため、スマートフォン等の機器で本機のペアリング情報を削除したうえで、再度ペアリングをやり直してください。

低音を感じにくい、高い音が耳障りに感じる場合は、イヤークイーズの装着が合っていない可能性があります。イヤホンを設計通りの音質で楽しむためには、イヤークイーズを正しく装着し、耳道内が密閉された状態で使用することが重要です。正しく装着するために以下の方法をお試しください。

- ・標準で付いているMサイズだけでなく、様々なサイズを試してみる。
- ・耳が小さい場合には、SやSSサイズを試すだけでなく、逆に大きめのサイズも試してみる。
- ・耳道の大きさは同じ人でも左右で異なるため、左右で異なるサイズのイヤークイーズを試してみる。








本項目には製品を安全にご使用いただくための重要な注意事項が示してあります。ご使用前によくご確認ください。

	危険	この表示の注意事項を守らないと使用者が死亡または重傷を負います。
	警告	この表示の注意事項を守らないと使用者が死亡または重傷を負う原因となります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと使用者が軽傷、または周囲に物的損害を与える可能性があります。






⚠️ 危険



火災・感電・発熱・発火・液漏れ・破裂・誤飲により死亡や失明、大けがの原因になる可能性があります。






-  湿度や埃の多い場所、直射日光が当たる場所、車の中など高温になる場所での使用・保管・放置をしないでください。本体の異常な発熱や液漏れ、破裂の原因になります。
-  充電ケースまたはUSBケーブルが濡れた状態で充電をしないでください。ショートによる異常な加熱や故障の原因になります。
-  付属のUSBケーブル以外を使用しないでください。破裂や電池の液漏れ、発熱などにより、火災や怪我、周囲の汚損の原因になります。
-  火の中に入れてください。液漏れや破裂により、怪我や周囲汚損の原因になります。
-  1ポートあたりの最大出力が20Wを超える急速充電アダプターには接続をしないでください。破裂や電池の液漏れ、発熱などにより、火災や怪我、周囲の汚損の原因になります。
-  分解しないでください。
分解禁止 あらゆる故障の原因になります。
-  イヤホン本体もしくは充電ケースから液体が漏れていることを確認した場合、もしくは異臭・発熱がある場合には、直ちに使用を中止し、液体には触らないでください。また近くに火気及び可燃物があるときは速やかに遠ざけてください。

⚠️ 警告

-  火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因なる可能性があります。
-  自動車やバイク、自転車などの運転中にイヤホンを使用しないでください。交通事故の原因になります。
-  踏切や横断歩道、駅のホームなど周囲の音が聞こえないと危険な場所で使用しないでください。イヤホンの音量を上げると周囲の音が聞こえにくくなり、事故や怪我の原因になります。
-  充電ケース内部に水や異物を入れしないでください。充電ケースは防水ではありません。水や異物が入った場合、火災や感電の原因になります。万が一、水や異物が入った場合は、直ちに使用を中止してください。また、充電ケースの端子部に異物が付着すると発熱や火災の原因となりますので、定期的に異物の付着が無いかをご確認ください。
-  本機を布団などで覆った状態で充電しないでください。熱が籠もることで異常な発熱を起こし、火災の原因になることがあります。

⚠️ 注意

怪我や周囲の家財に損害を与える可能性があります。

-  子供や監督を必要とする方などの手の届くところには置かないでください。本機は磁石及び電池を使用しています。小さな部品を飲み込むと窒息の危険性や内臓を傷つけるなど深刻な症状を引き起こす恐れがあります。
-  イヤピースはしっかりと取り付けてください。イヤピースがしっかりと取り付けられていない場合、使用中に外れて耳道内に残る場合があります。
-  大音量で長時間聴かないでください。長期にわたる過剰な音量での使用は永久的な難聴を招く恐れがあります。80 dB (A)の音量で40時間/週、89 dB (A)の音量で5時間/週を超えないようにしてください。
-  医療機関内や医療機器を使用している方の近くで使わないでください。ペースメーカーなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。
-  本機を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響することで、事故の原因になる恐れがあります。

問題点	原因	対処法
イヤホンの電源がONにならない	(ご購入直後の場合) 電池残量が少ない	内蔵バッテリーは、海外からの輸送の安全のため、法令に基づき工場出荷時にフル充電にすることができません。そのため、お客様が開封された際に動作に必要な電圧を下回ることがございます。ご使用前にフル充電してください。充電方法について詳しくは、P.3の「充電する」をご確認ください。
	イヤホンの電池切れ	イヤホンを充電ケースに入れて充電してください(充電ケースも充電切れの場合、まずは充電ケースを充電してください)。充電方法について詳しくは、P.3の「充電する」をご確認ください。
	タッチセンサーに十分な時間触れていない	タッチセンサーに電源がONになるまで触れ続けてください。電源をONにする方法について詳しくは、P.4の「電源をONする」をご確認ください。
	誤操作のためエラーが発生している	リセット操作を行なうことで改善する場合がございます。リセット方法について詳しくは、P.7の「リセット方法について」をご確認ください。
イヤホンの電源がOFFにならない	タッチセンサーに十分な時間触れていない	タッチセンサーに電源がOFFになるまで触れ続けてください。電源をOFFにする方法について詳しくは、P.4の「電源をOFFする」をご確認ください。
	(充電ケースにイヤホンを入れても、イヤホンの電源がOFFにならない場合) 充電ケースの電池残量が少ない	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納すると、イヤホンの電源が自動でOFFになりますが、OFFにならない場合、充電ケース自体の電池残量が十分でない場合がございます。充電ケースを充電した後に、再度お試しください。充電方法については、P.3の「充電する」をご確認ください。
	(充電ケースにイヤホンを入れても、イヤホンの電源がOFFにならない場合) 付属品以外のイヤピースを使用している	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納すると、イヤホンの電源が自動でOFFになり、イヤホンの充電が開始されますが、付属品以外のイヤピースをご使用の場合、充電ケースに干渉して充電が満足にできず、電源がOFFにならない場合がございます。付属品のイヤピースで正常に動作するかご確認ください。

問題点	原因	対処法
イヤホンが充電できない	イヤホンの金属接点が充電ケースのピンと接触していない	金属接点と充電ケースのピンの接触具合が十分であることをご確認ください。また、イヤホンを充電ケースに収納して、イヤホンのLEDが赤く点灯することをご確認ください。
	充電ケースの電池残量が少ない	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納すると、イヤホンの電源が自動でOFFになり、イヤホンの充電が開始されますが、開始されない場合、充電ケース自体の電池残量が十分でない場合がございます。充電ケースを充電した後に、再度お試しください。充電方法について詳しくは、P.3の「充電する」をご確認ください。
	付属品以外のイヤピースを使用している	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納すると、イヤホンの電源が自動でOFFになり、イヤホンの充電が開始されますが、付属品以外のイヤピースをご使用の場合、充電ケースに干渉して充電が満足にできず、電源がOFFにならない場合がございます。付属品のイヤピースで正常に動作するかご確認ください。
イヤホンの検索/ペアリングができない	イヤホンがペアリング状態にならない	リセット操作を行なうことで改善する場合がございます。リセット方法について詳しくは、P.7の「リセット方法について」をご確認ください。
	(一度ペアリングを行なった場合) 以前接続した機器に自動的に接続されている	以前ペアリングされた機器のペアリング情報を削除してから、再度ペアリング操作を行なってください。
音楽再生中に音(接続)が途切れる	外的要因により干渉を受け、接続状況に影響が出ている	Bluetoothは、2.4GHzの帯域を使って通信を行っております。この帯域は、Wi-Fiなどさまざまな無線規格で使われておりますので、それらの干渉を受ける可能性があります。また、この2.4GHz帯は水分を貫通しません。湿度や雨天による影響や、人体も水分ですので、接続性に個人差がございます。さらにスマートフォン等の機器のスペックにも依存いたします。そのため、ご自宅では周囲の使用していないWi-Fi/Bluetoothの設定をOFFにする等が対策となります。外出中であれば、鞆の中のスマートフォン等の機器を胸ポケットに移動させる等、機器同士の距離を近づけることで接続状況が改善される可能性がございます。

問題点	原因	対処法
片側しか音が出ない	左右間のイヤホンのペアリングが解除されている	リセット操作を行うことで改善する場合がございます。リセット方法について詳しくは、P.7の「リセット方法について」をご確認ください。
	片側のイヤホンの電池が切れている	電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納してイヤホン本体を充電してください。充電方法について詳しくは、P.3の「充電する」をご確認ください。
イヤホンの片側だけ電池消費が早い	仕様上、片側が親機、もう一方が子機となり、左右間で負荷が異なる	Bluetoothイヤホンはその仕様上、一般的に片側が親機、もう一方が子機となっており、親側のイヤホンは親機との通信のみ、親機側は子機との通信に加え、スマートフォン等の機器とも通信を行っております。そのため、それぞれの負荷量が異なるため、電池消費にも差が生じる場合がございます。
充電に時間がかかる	充電に使用しているUSBアダプターの出力が低い	PC等のUSBポートをご使用いただいている場合、出力が低く、公称値よりも充電に時間がかかる場合がございます。そのため、本製品を充電される際は、5V/1AのUSBアダプターをご使用ください。
タッチセンサーが機能しない	タッチセンサー部に汚れ・水滴等が附着している	タッチセンサー部に汚れや水滴が附着している場合、タッチセンサーが正常に機能せず、イヤホンの操作ができない場合がございます。タッチセンサー部を乾いた柔らかい布で拭き、汚れや水滴を取り除いてください。

ダストフィルターに付着したゴミは、安全について十分ご留意いただき、たとえば綿棒の先端にゴミを付着させるかたちで、ゴミが内部に落下しないようにやさしく取り除いてください。



本機を廃棄するときは

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、各地方自治体の指示に従ってください。また、弊社WEBサイト「CONTACT」ページの「お問い合わせフォーム」からもご相談を受け付けています。

本製品の保証期間はご購入日より1年間です。保証期間中は以下の保証規定に基づき修理いたします。保証はご購入いただいた国でのみ有効です。修理のお申込みは弊社WEBサイト「修理・サポート」ページの「修理申込みフォーム」より行なってください。居住国以外の国でご購入の場合や保証期間後のサポートについては、「CONTACT」ページの「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

1. 保証期間内に、取扱説明書に記載の警告、注意書きに従った使用状態で故障した場合には、無償修理させていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合には、有償で修理させていただきます。
 - (1) レシート等、購入日を証明するものをご提示いただけない場合。
 - (2) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者やお客様により改造、分解、修理がなされた場合。
 - (3) 強い衝撃を与えたり、水に濡らした場合。無理な力がかかるような状況下で起こった故障。
 - (4) 火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異などによる故障、人災による故障、盗難、ウイルス感染による故障。
- (5) 筐体表面の傷の修理、筐体自体の修理。

3. 本製品のご使用により、お客様に生じた損害については、弊社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、弊社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

弊社WEBサイト画面下部のチャットアイコンより「よくあるご質問」をご参照いただくか、「CONTACT」ページの「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

final-inc.com/pages/top_ag

製造：株式会社final

※仕様変更の可能性がございますので、最新の取扱説明書は以下のQRをスキャンしてご確認ください。



https://final-inc.com/products/pita_ag#download